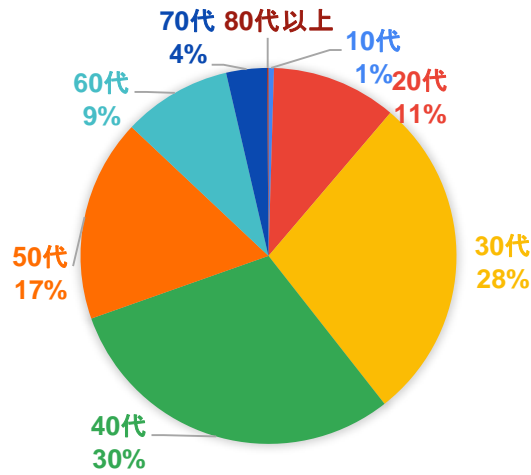


第二部 大人からの回答

回答数:855 件

問1.年代を教えてください

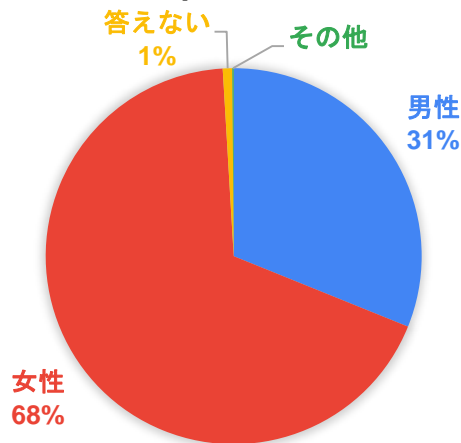


分析コメント

▼一般的に「働き盛り」と言われる 30代~50代が7割以上を占めています。

問2.性別(自認する性)を教えてください

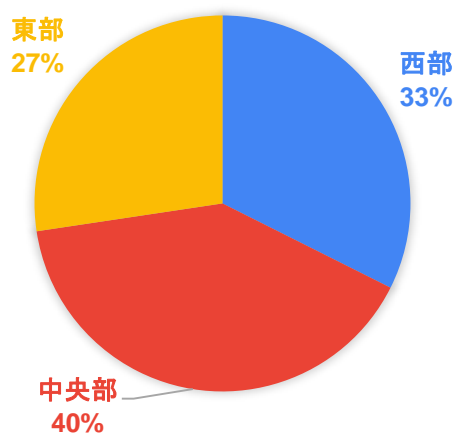
n=855



▼およそ 男性3割:女性7割の比率です。

問3.居住地を教えてください

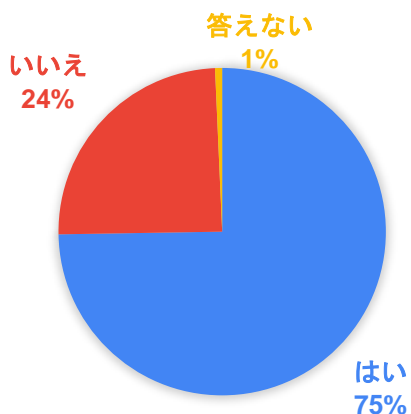
n=855



▼居住地はほぼ均一で、差はほとんどありません。

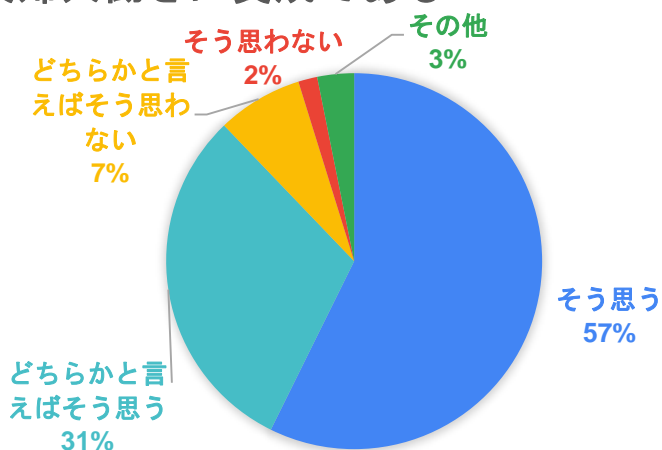
問4.子育て中、もしくは 子育ての経験がありますか

n=855



問5.夫婦共働きに賛成である

n=855



分析コメント

▼およそ9割が肯定的な回答です。「収入による」「自由に選択できれば良い」といったコメントも寄せられています。

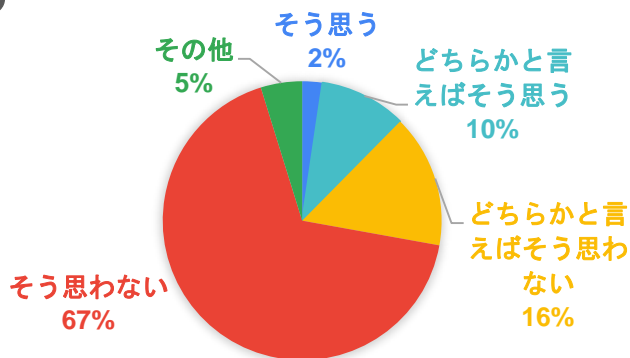
▼「その他」へのコメント

- ・互いが働くことを望み希望するのであれば共働きでいいと思う(20代女性)
- ・各夫婦の考え次第である(20代男性)
- ・それぞれの家庭状況による(20代男性)
- ・妊娠、子育て期に女性が安心して休職できる、またその期間女性が働かなくても余裕をもって子育てできる賃金を、若い男性に与えるべき。(30代女性)
- ・話し合って選択できたらいい(30代女性)
- ・好きにすればいいと思う(30代女性)
- ・働きたい人が働けばいいと思う(30代女性)
- ・働きたいなら働けばいい(30代男性)
- ・夫婦による(30代男性)
- ・子育て中はそう思わない。それ以外は共働きに賛成します(40代女性)
- ・状況による(40代女性)

- ・その家庭で話し合ってお互いに家事、育児を協力しあえるなら賛成です (40代女性)
- ・どっちでもよい(40代女性)
- ・収入によりけり(40代女性)
- ・働く必要があるなら働けば良い。賛成、反対という考えはない。(40代女性)
- ・それぞれの状況や考え方によるものであり、賛否を問うことに適さない(40代男性)
- ・うちは賛成だが、全体的に語れるものではないかな(40代男性)
- ・父子家庭ですので(40代男性)
- ・その家庭にお金が必要ならそうすれば良い(40代男性)
- ・家庭の事情によりけり(40代男性)
- ・必要だからはたらくのであって(50代女性)
- ・その夫婦の同意があれば共働きでも、夫が子育てしてもかまわないと思う(50代男性)
- ・各自の家庭環境、希望等の様々な理由において自由であるべき(60代男性)
- ・経済的理由で働きましたが、少なくとも小学生の間は家にいた方が良いと思いますが(70代女性)

問6.夫婦共働きの場合、より収入の低い方が、家事や育児を多く負担すべきだと思う

n=855



分析コメント

▼8割以上が否定的な回答です。「時間に余裕がある方が多く負担すべき」「話し合っ、平等に負担すべき」といったコメントも寄せられています。

▼「その他」へのコメントー「時間」に関するご意見

- ・仕事によると思います。お金より時間の方が関係あると思います。(20代女性)
- ・残業や勤務時間が少ない方が家事をやってあげるべきかと(30代女性)
- ・働く時間の短い方が負担すべき(30代女性)
- ・働く時間が短いほうが多めになる(30代女性)
- ・時間のゆとりがある方がすればいい(40代女性)
- ・収入でなく時間的体力的にできるほうが負担するべきと思う。(40代女性)
- ・労働時間による分配(40代女性)
- ・手が空いてる方がやるべきだ(40代男性)
- ・収入ではなく、時間がある方(40代男性)
- ・時間がある方がやればいい(40代男性)
- ・収入ではなく労働時間の短い方が負担を多くした方がよいと思う。(50代女性)

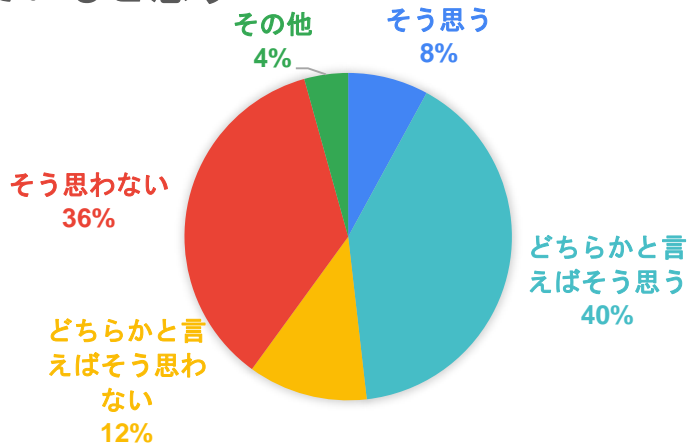
- ・時間に余裕がある割合で分担するのが理想(50代女性)
- ・収入と言うより時間がある方になってしまう(50代女性)
- ・仕事にかかる時間の少ない方が多く負担すると良いと思う。(60代女性)
- ・勤務時間の短い方(60代男性)

▼「その他」へのコメントーその他

- ・収入で判断ではなく、その都度出来るときに出来る方がやるべき(20代女性)
- ・夫婦ごとに話し合って決める案件(20代男性)
- ・各夫婦の考え次第である(20代男性)
- ・それぞれの家庭状況による(20代男性)
- ・収入の高い低いではなく余裕のある方が多く負担する等助け合えばいいと思う。(30代その他)
- ・できる方がやる(30代女性)
- ・収入関係なく2人でするものだと思う(30代女性)
- ・平等にすべきだと思う(30代女性)
- ・日本の経済の低迷により、男性の収入が落ちて専業主婦を養えなくなった、という大きな流れのせい、つまり政府の失策のせいで共働きが必要になった。にも関わらず女性活躍といったような耳障りの良いことばで、女性の社会進出を促し、国民の生活の余裕をなくさせたのは、政府であり、行政なのです。共働きをせず、女性か男性どちらかが十分な稼ぎを家に持ってこない、子供を育てる余裕もないし、出生率も下がる一方でしょう。(30代女性)
- ・できる方がやればいい(30代男性)
- ・偏った質問だと思いますが、協力しあえばいいのでは。(30代男性)
- ・相互理解あればよし(30代男性)
- ・できる人がやれば良い(40代女性)
- ・その家庭による(40代女性)
- ・基本的にはそう思うが、状況によりお互い助け合うべき(40代女性)
- ・効率よくできるほうがやるといい(40代女性)
- ・出来る方がやればいいと思う(40代女性)
- ・働き方による(40代男性)
- ・家庭の考え方それぞれだとおも(50代女性)
- ・収入は関係なくお互いに(50代女性)
- ・夫婦間の話し合いで決める(60代女性)
- ・お互いに出来る事をする(60代男性)
- ・各自の自由であるべき(60代男性)
- ・助けあってやるべき(60代男性)
- ・時間的問題も共に協力すべき(70代女性)

問7.家事・育児をするのは女性の方が向いていると思う

n=855



分析コメント

▼肯定的意見と否定的意見がほぼ半数ずつに分かれました。

「性別問わず個人差がある」といったコメントも寄せられています。

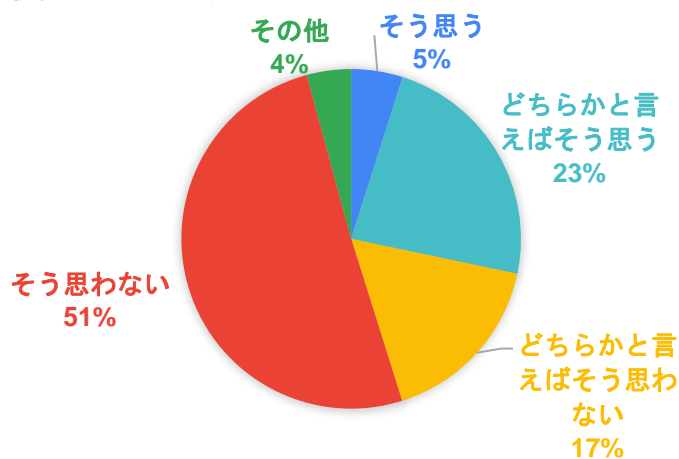
▼「その他」へのコメント

- ・子供の機嫌によっても変わるのでどっちが向いているかは時々だと思う(20代女性)
- ・女兒に得意になるように教育されているとは思う(20代男性)
- ・向き不向きはない(20代男性)
- ・男性にも適性のある人がいると思う(20代男性)
- ・向いている、向いていない=得意、不得意?個人によるのでは(30代女性)
- ・男女ともに向き不向きがある(30代女性)
- ・個人の資質に依る(30代女性)
- ・性別問わず個人差があると思う(30代女性)
- ・人による(30代女性)
- ・性別で向き不向きは決まらない。(30代その他)
- ・どっちも育児をしないとダメだと思います(40代女性)
- ・個性や性格による(40代女性)
- ・向き不向きの問題じゃない(40代女性)
- ・自分の子供なんだから、男女関係なく育てるのは当たり前かな?(40代女性)
- ・女性の方が向いてるとは限らないですよ?(40代女性)
- ・人によって、向き不向きがあるので一概に言えない(40代女性)
- ・家事育児ってその内容は多岐にわたるわけで、それぞれが得意な分野など分担してやればよいと思う。(40代女性)
- ・性別は関係ないと思う。(40代女性)
- ・体力のある男の方が向いてる(40代女性)
- ・女性の方がセンスはあると思う(40代男性)
- ・乳幼児の時は授乳など女性にしか出来ない項目が一部あるが、それ以外は性別による向き不向きは無い(40代男性)
- ・性別と育児、家事は別だと思う。(50代女性)
- ・夫婦二人が担うもの(50代女性)
- ・向いているかどうかは、個人の違い(50代女性)
- ・人による(50代女性)
- ・男性でも人によっては(50代女性)

- ・性別に関係なく家にいる時間が長い方(リモートワーク含む)が向いていると思う(60代女性)
- ・各自の自由であるべき(60代男性)
- ・助けあってやるべき(60代男性)
- ・母親がその様にして来た姿を見て向いているように見えるが、義務ではないと思う。親として、家族として、だと思う。(70代女性)

問8.結婚をして子どもを産み育てることが女性の役割だと思う

n=855



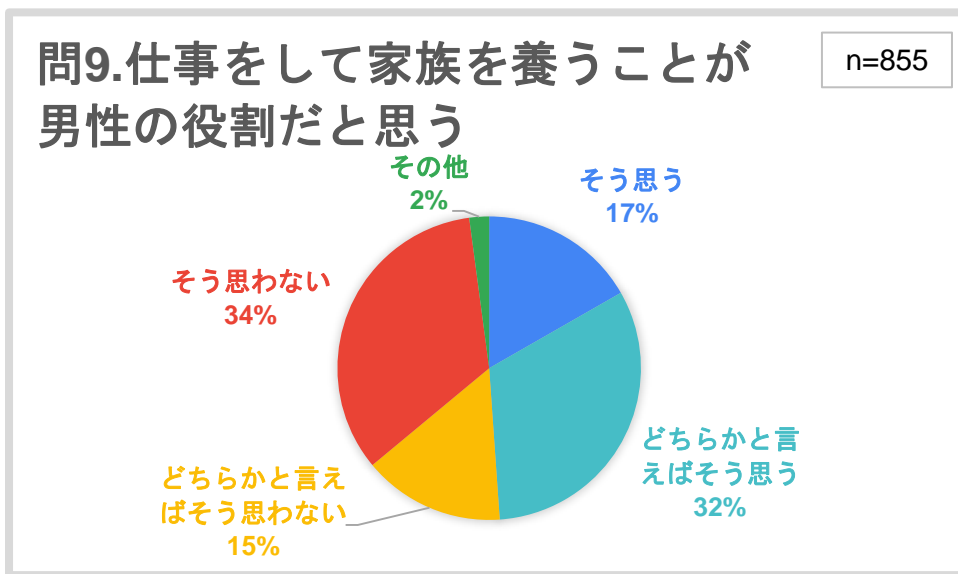
分析コメント

▼ほぼ 7 割が否定的な回答です。『「産む」ことは女性にしかできないが、「育てる」ことは誰にでも可能』といったコメントも寄せられています。

▼「その他」へのコメント

- ・どちらともいえない(20代男性)
- ・個人の価値観による(20代男性)
- ・その人それぞれだと思うし、役割と言われると結婚していないまたは子供を産まない産めない女性が女性として役割を果たせてない訳ではないと思う(30代女性)
- ・結婚しなくても子供を産むのは役割だと思う(30代女性)
- ・産むのは女性しかできないから仕方ないけど、育てるのは女性だけでなく男性もです。(30代女性)
- ・したい人がすればいい(30代女性)
- ・そうしたい人がそうすればよい(30代女性)
- ・そうは思うが、育児は家族、地域みんなで出来るのが理想(30代女性)
- ・育てるのはどつちもできると思います。(30代男性)
- ・結婚、子育ては役割ではなく、選択されるものであると考える(30代男性)
- ・夫婦協力して行うべき(30代男性)
- ・まったく思わない(40代女性)
- ・子供は女性しか産めないが、それが役割とは思わない(40代女性)
- ・現実として、子どもが生まれなければ、人類が終わってしまうのだから、思うとか思わないではなく、必要である。(40代女性)
- ・産むのは女性しか出来ないが、それ以外は夫婦ともにやるべき(40代女性)
- ・子供を産めるのは女性だが、育てるのは男性でもいいですよ？(40代女性)
- ・子どもを産むことに関しては女性しかできないことなので役割と言えと思うが、その他の事に関してはそう思わない。(40代女性)
- ・生物としてはそう思うが、個人としてはそう言い切れない世の中になっていると思うから、よくわからない。(40代女性)
- ・子供を産めるのは女性であるという事実がそこにあるのみと考える(40代男性)

- ・男が産めるなら産みたい(40代男性)
- ・男性は子供を産むことができないため、産むことは女性にしかできない性的役割だと思う(40代男性)
- ・産み育てるという表現だと答えにくい(40代男性)
- ・役割では押し付けがましいし、愛が無いような気がする。男性の家族を守る気持ちが無ければ女性も安心して出産も子育ても出来ないと思う。ただ産めと言われても生きていけなければ問題。(50代女性)
- ・子供産まない選択もある(50代女性)
- ・夫婦が協力した方が良くと思います(50代女性)
- ・育てるのは夫婦の役割だと思いますが女性に比重があると(50代女性)
- ・子供を産めるのは女性にしか出来ないの健康であれば子供を産んで欲しいだけ育児は女性だけに押し付けるのは、ダメだと思う育児のしやすい行政作りが必要(50代男性)
- ・子どもを産むのは女性しか出来なくてその意味では女性の役割。結婚する、育てるは必ずしもそうとは思わない。(60代女性)
- ・子供は、授かり物。子育てもそれぞれ得意なほうがやると良い(60代女性)
- ・希望通りに行かないこともある(60代女性)
- ・各家庭の自由である(60代男性)
- ・夫婦協力してやるもの(70代女性)
- ・育児は別だが出産は女性しかできない。設問が間違えている。(70代男性)



分析コメント

▼肯定的意見と否定的意見がほぼ半数ずつに分かれました。

「収入に男女差があるのは事実」といったコメントも寄せられています。

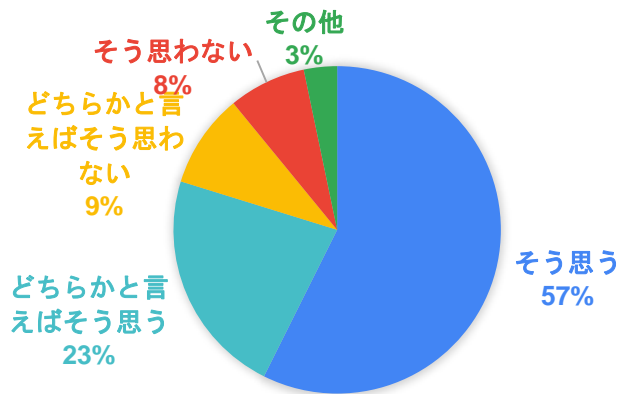
▼「その他」へのコメント

- ・個人の価値観による(20代男性)
- ・そう思わない。だが男性の方が収入が多い事実には変わりはない(30代女性)
- ・男女の収入面に差があるから考えれば良い(30代女性)
- ・問8まで女性が全てを背負わないのであれば、そう思わない。全て女性に任せるのなら、そう思う。(30代女性)
- ・そうしたい人がそうすればよい(30代女性)
- ・どちらともいえない(30代女性)
- ・仕事してお金を稼ぐのは独身でも同じ事なので、養う＝育児や家事等も一緒に行うもしくは手伝うと思う(30代女性)
- ・仕事、家族を養うことは性自認に縛られるものではない(30代男性)
- ・女性が稼げるならどちらでもいいと思う。(30代男性)

- ・性別によって決めるべきではない(40代女性)
- ・女性が安心して出産、子育てをするのに男性の協力が必要。共働きが出来ない時は 頑張って働いて頂けないと困ります。また、女性の低収入で 家族を養うのは 難しい。(50代女性)
- ・家族持たない選択もある(50代女性)
- ・良く話し合うこと(60代女性)
- ・ケースバイケース(60代男性)
- ・今は男女でなく人としてみる時代その人家庭の事情による(70代女性)
- ・可能な限り家事も子育ても分担すべき(70代男性)
- ・男性が仕事をしなくてもいい理由がない。設問が間違えている。(70代男性)

問10.結婚をしていない方にお聞きします。結婚をしても仕事を続けたい

n=183



分析コメント

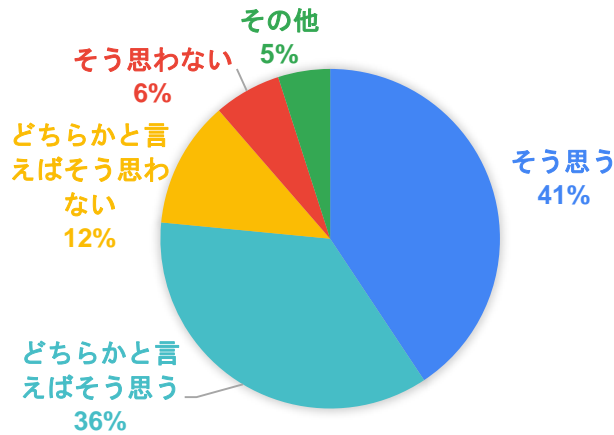
▼およそ8割の人が「仕事を続けたい(続けるべきだ)」と回答しました。

▼「その他」へのコメント

- ・その時の仕事のやりがいや、収入によって考えは変わる(30代女性)
- ・結婚相手の収入や協力度にもよるのでは無いでしょうか。(50代女性)
- ・仕事はしたいけど、いまの仕事かは不明(30代女性)
- ・子供ができるまでは働いてもいい(20代女性)
- ・収入があれば働きたくない(40代女性)
- ・相手によります!(40代女性)

問11.結婚をしている方にお聞きします。結婚をしても仕事を続けたい（続けるべきだ）

n=686



分析コメント

▼およそ8割の人が「仕事を続けたい（続けるべきだ）」と回答しました。「子育てを優先したいが、経済的理由でかなわなかった」といったコメントも寄せられています。

▼「その他」へのコメント—経済的な懸念

- ・十分に暮らしていける収入が旦那にあるならば仕事を続けたくはない(20代女性)
- ・本来は退職したかったが、生活のため続けるしか無かった(30代女性)
- ・金銭的に余裕があるなら、子供がある程度大きくなってから仕事をしたい。もしくは、勤務時間を短くして子供に使える時間がもう少しほしい。習い事などもさせたいが、フルタイムだと付いていけないので不可能(30代女性)
- ・仕事せざるを得ない(30代女性)
- ・働かなくていいなら働きたくない(30代男性)
- ・育児に集中したいけど収入が減るので働かざる終えない(40代女性)
- ・仕事に生甲斐や誇りがあれば続けたいと考えるのは真つ当だと思いますが、実際には生活の為に働かざるを得ないのが大半の理由なのではないかと感じます。(40代女性)
- ・経済的にた許されるなら辞めたい(40代女性)
- ・仕事するも子育てに集中するもの考え方ですかどちらも合ってると思うが収入次第かと思います(40代男性)
- ・家庭の経済状況による(50代女性)
- ・経済状態による(50代女性)

▼「その他」へのコメント—どちらでも可・個人の自由

- ・自分の状況に合わせて決めたら良いと思うのでどちらでもいいと思う。(30代女性)
- ・状況に合わせて選べれば良い(30代女性)
- ・人によるので、結婚に限らず仕事をするしないを自由に選択できるべき(30代女性)
- ・べき論ではない。自己意思により選択した結果、続けたいと思っている。(30代男性)
- ・自由にすればいい(30代男性)
- ・その個人、夫婦による(30代男性)
- ・自分はそうしたいとは思いますが、他人にまで「べき」と押しつけるほど傲慢ではない(40代男性)
- ・本人の意思次第だと思う(40代男性)
- ・どちらでも(50代女性)
- ・個人の意思による(50代男性)
- ・相手と相談して決めればよい(60代男性)

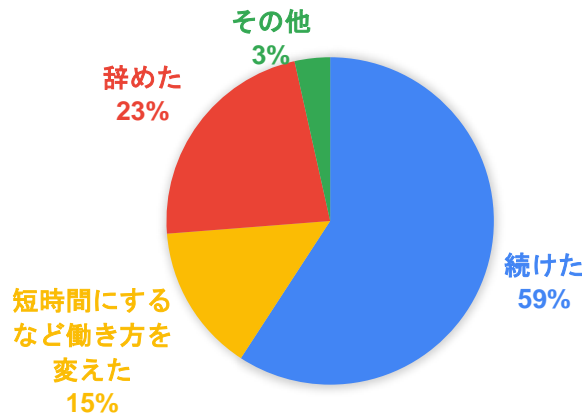
▼「その他」へのコメントー子育てを優先したい

- ・妊娠、子育て期はしっかり休みたい(30代女性)
- ・子供が小さい内は自分で育てたい。幼児くらいからパート扶養内で働きたい(30代女性)
- ・子育て中以外は仕事をするべきだ。(40代女性)
- ・子供が小さい時は家にその後はその人の考や経済による(70代女性)

▼「その他」へのコメントーその他

- ・続けたい。が、続けるべきとは思わない。(20代答えない)
- ・その時による(30代女性)
- ・必要があるなら続ければ良い。(40代女性)
- ・その時の状況に応じて(50代女性)
- ・結婚相手しだい。(50代女性)
- ・状況によるので、なんとも言えない(50代女性)
- ・必要があれば(50代女性)

問12.結婚をしている方にお聞きします。結婚後は仕事をどうしましたか



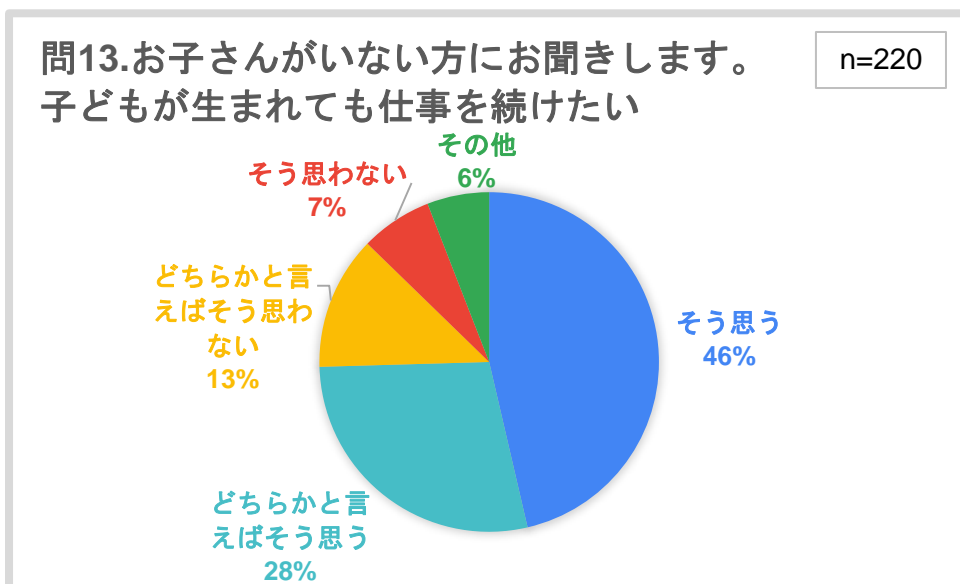
分析コメント

問10.問11.で8割の人が「仕事を続けたい(続けるべきだ)」と回答しましたが、実際に仕事を続けられた人は6割に留まり、「働き方を変えた」「仕事を辞めた」人がおよそ4割でした。

▼「その他」へのコメント

- ・勤務地が札幌だったので職を変えた(20代女性)
- ・保育園に子どもが慣れるまで勤務時間調整をしながら仕事を続けた(20代女性)
- ・市外から引っ越してきたので辞めざるを得なかった(20代女性)
- ・会社によって産休制度が整っていないところがあったので職を変えた(30代女性)
- ・環境による!(30代女性)
- ・妊娠→退職→入籍(30代女性)
- ・夫の転勤の時に退職(30代女性)
- ・結婚前から辞めていた。持病のため(30代女性)
- ・保育園に受からず辞めざるを得なかった(30代女性)
- ・続けましたが、数年後辞めました(40代女性)

- ・妊娠を機に退職(40代女性)
- ・妊娠したから辞めた(40代女性)
- ・フルタイムをやってから、徐々に短い仕事を選ぶようになった。(40代女性)
- ・子供が幼稚園や小学校に通い初めてからその時間帯だけから徐々に増やしていった。(50代女性)
- ・何年かは仕事とは離れていたが、子供が大きくなり仕事を再開した(50代女性)
- ・子どもを出産する時に辞めた(50代女性)
- ・辞めた後、夫の自営業を手伝った(50代女性)
- ・専業主婦でしたが、いま、子供たち、いなくて、パートにでている(50代女性)
- ・一時的に辞めたが、落ち着いてからまた働いた(50代女性)
- ・子育てが一段落してパートへ(50代女性)
- ・辞めさせられた。(50代女性)
- ・子育て時は辞めたが、再就職している。(60代女性)
- ・前の仕事はやめ、嫁ぎ先の自営を手伝った(60代女性)



分析コメント

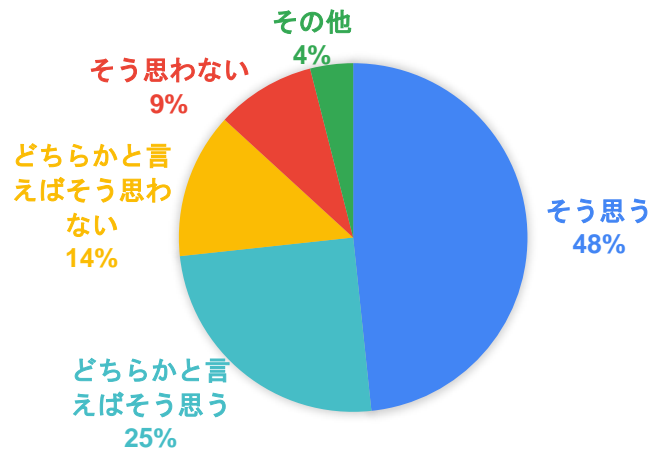
▼7割以上が「仕事を続けたい」と答えました。

▼「その他」へのコメント

- ・必要であればする(20代女性)
- ・その時の仕事のやりがいや、収入によって考えは変わる(30代女性)
- ・会社が子持ちを1人とカウントせず休みやすい環境や時短勤務など会社が快く受け入れてくれるなら仕事を続けたい(30代女性)
- ・一定期間は物理的・精神的に無理かもしれないが、子供とだけ向き合い続けると気が病むので預けられるなら働いた方が健康的かもしれない(40代女性)

問14.お子さんがいる方にお聞きします。子どもが生まれても仕事を続けたい（仕事を続けた）

n=629



分析コメント

▼7割以上が「仕事を続けたい」（続けた）と答えました。

「生活のために働かざるをえなかった」「子育てがある程度落ち着いてから再就職した」といったコメントも寄せられました。

▼「その他」へのコメントー経済的懸念

- ・生活のために退職は出来なかった。(30代女性)
- ・続けないと生活が厳しいので(30代女性)
- ・物価の高騰や、子供の習い事などの出費、高い税金のため働かないとやっていけない(30代女性)
- ・仕事せざるを得ない(30代女性)
- ・お金があれば育児に専念したい(30代女性)
- ・続けているが、他に収入があるなら辞める(30代男性)
- ・育児に専念したいけど収入が減るため働く(40代女性)
- ・子供にもっと関わっていたかったが生活の為働かなければならなかった(50代女性)

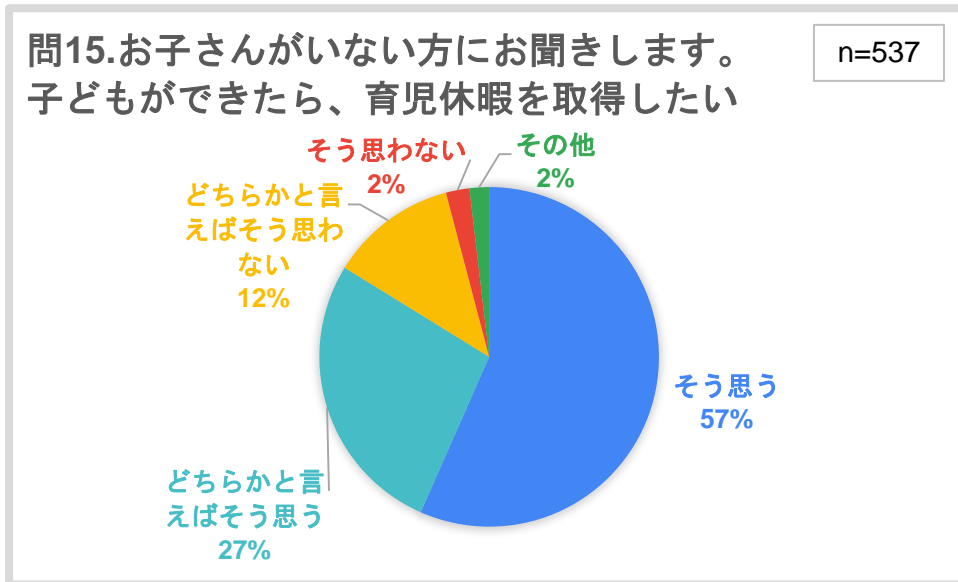
▼「その他」へのコメントー子育てを優先したい

- ・子育てが落ち着いたら働く(30代女性)
- ・子供の成長に合わせて、働きに出た(40代女性)
- ・ある程度の年齢迄は仕事をしないでそばにいたい(50代女性)
- ・子供が小学校に入学する頃までは育児だけしたかった(50代女性)
- ・出産2ヶ月前まで仕事をしていたが、初めての出産と育児だったのと、経済的に夫の収入だけで生活出来たので育児に専念する為に仕事を辞めた。(50代女性)
- ・大きくなるまで働かなかった(50代女性)

▼「その他」へのコメントーその他

- ・その時による(30代女性)
- ・働きたいが預け先がなかった(30代女性)
- ・1度辞めてから再就職しました。(30代女性)
- ・人によるので、出産に限らず仕事をするしないを自由に選択できるべき(30代女性)
- ・家庭状況による(40代女性)
- ・やりたい仕事なら続けたかもしれないけど、夫の転勤もあるし、第一辞めたくて仕方なかったので続ける選択肢はなかった。喜んでやめました。(40代女性)

- ・どちらでもよい(40代男性)
- ・家事と育児の両立がとてもしゃないができそうになかったので、あきらめた。(50代女性)
- ・時間があれば(50代女性)
- ・必要だったから(50代女性)
- ・個人的意思による(50代男性)
- ・状況によって考えると良い(60代女性)



分析コメント

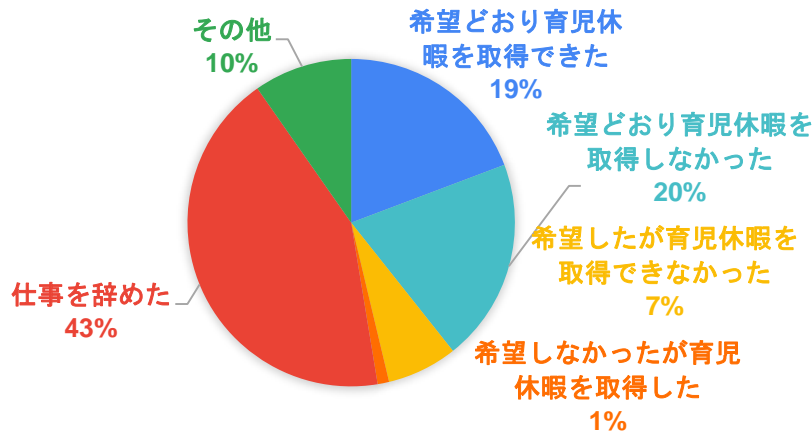
▼8割以上が肯定的な回答です。

▼「その他」へのコメント

- ・所属する会社に制度が無いが、取得できるなら取得したい。(20代男性)
- ・育児休暇を取って生活出来るなら取りたい(50代女性)
- ・産まないが取得すべきと思う(50代女性)
- ・なかった(50代女性)
- ・退職したい(50代女性)
- ・有給休暇は男女必要(50代女性)

問16.お子さんがある方にお聞きします。育児休暇を取得しましたか

n=618



▼「その他」へのコメントー制度がなかった

- ・育児休暇はなかった(20代女性)
- ・会社に制度が整っていなかった(30代女性)
- ・制度がなかった(40代女性)
- ・そんな時代ではなかった(40代男性)
- ・育児休暇制度が無かった。(40代男性)
- ・当時はこの制度が無かった(40代男性)
- ・その当時はそんな制度がなかったと思う。なので仕事を辞めた。が、子供が大きくなってから元居た職場から声を掛けてもらい復職した(50代女性)
- ・育児休暇がなかった(50代女性)
- ・育児休暇の制度がなかった(50代女性)
- ・制度が無かった(50代男性)
- ・制度がなかった(50代男性)
- ・休暇は無かった(50代男性)
- ・育児休暇はなかったので託児所を探して仕事を続けました(60代女性)
- ・現役時代にそういう制度はなかった(60代女性)
- ・産前産後休暇のみの時代でした(60代女性)
- ・育児休暇はなかった(60代女性)
- ・制度が無かった(60代男性)
- ・制度化されてなかったと思う。(60代男性)
- ・40年以上前なので、育児休暇制度？(60代男性)
- ・そんなシステムはまだ無かった(60代男性)
- ・制度が無かった(60代男性)
- ・制度が無かった(60代男性)
- ・そんなのはありません(70代女性)
- ・私達の時代 制度がなかった(70代女性)
- ・制度なかった(70代女性)

分析コメント

▼ 問15で8割以上が「育児休暇を取得したい」と回答したのに対し、実際に「育児休暇を希望通り取得できた」のは2割に留まり、「希望したが育児休暇を取得できなかった」「仕事を辞めた」人が5割を占めます。「当時は制度すらなかった」「結婚した時点で退職するのが当たり前の時代だった」「育休を取得するなんて考えもしなかった（男性）」などのコメントが目立ちました。

▼「その他」へのコメント—制度の対象ではなかった

- ・パートは育児休暇ない(30代女性)
- ・パートだから(30代女性)
- ・働いていなかった(30代女性)
- ・結婚する時に辞めていた(30代女性)
- ・仕事をしていない(30代女性)
- ・専業主婦だったので育児休暇は無かった(30代女性)
- ・自営業のため休暇は無し(40代女性)
- ・そもそも正規雇用で働いていませんでした(40代女性)
- ・仕事をしていなかった(40代女性)
- ・仕事をしてなかったため育児休暇が必要じゃなかった(40代女性)
- ・その時期は仕事をしていなかった(40代女性)
- ・結婚の時点で辞めたので対象にならない。(50代女性)
- ・結婚して退職(50代女性)
- ・結婚と同時に退職(60代女性)

▼「その他」へのコメント—一旦退職し、再就職した

- ・取得すると回りに負担がかかるので、退職して短時間パートにした。(40代女性)
- ・仕事を辞めて子供が8ヶ月になってからフルタイムを始めた。(40代女性)
- ・子どもがある程度大きくなってから、職を探した(50代女性)
- ・子供がいないから実際わからなあ(50代男性)
- ・子供が大きくなってから働いた(50代女性)
- ・子どもが小学校入学まで働かなかった(60代女性)

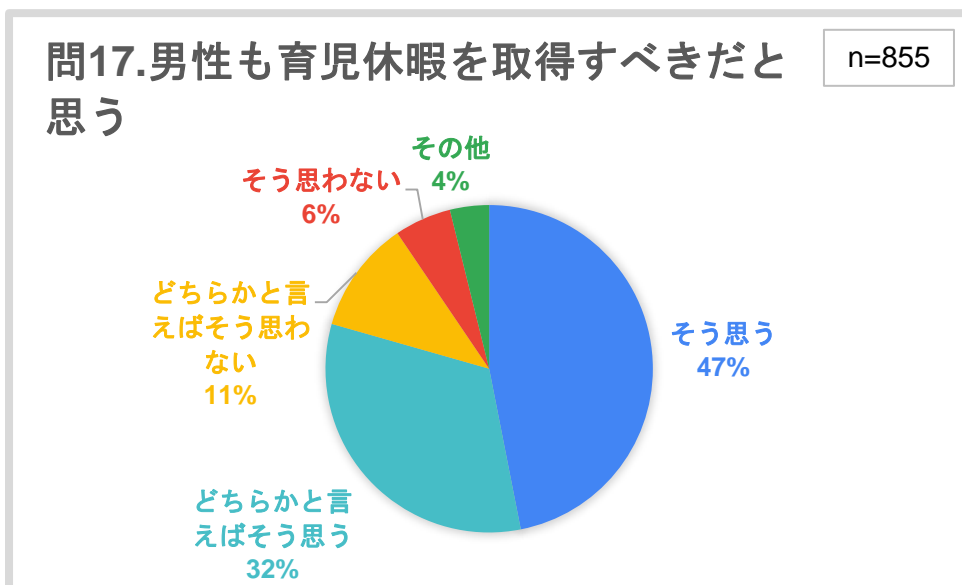
▼「その他」へのコメント—取得について考えたことがなかった

- ・育児休暇という選択肢自体を想像できなかった(40代男性)
- ・考えもしなかった(40代男性)
- ・自分の頃は育児休暇が話題に上がる事が無かった(40代男性)
- ・育児休暇を取ること自体を考えなかった(50代男性)
- ・育児休暇を取ること自体を考えたことがなかった(70代男性)

▼「その他」へのコメント—その他

- ・取得したが、できれば最後まで取りたかった(30代女性)
- ・育児休暇中お金は出ません(30代女性)
- ・育児休暇を取得できた時とやめた時、取得できなかった時があった(30代女性)
- ・休暇はあまり取れなかったけど子供との時間がとれるような配慮はしてもらえた(40代男性)
- ・育児休暇の話をしたが妻が休まなくて良いと言ってきた。(40代男性)
- ・2ヶ月の有給を使用した。収入が無いと生活出来ないの。(50代女性)
- ・保証はないが仕事を休んだ(50代女性)

- ・妻は取得した(50代男性)
- ・希望しなかったが、育児休暇を誰でも希望できる環境になって欲しい(50代男性)
- ・1時間前後早退できた。(60代女性)



分析コメント

▼ほぼ8割が肯定的な回答です。「取るからには、女性の負担が軽くなるようしっかり育児参加すべき」といったコメントも寄せられています。

▼「その他」へのコメントー育児をするなら取得すべき

- ・育児をするなら取るべき。ただ女性の負担が軽くなる生活をするのであれば取らないべき(30代女性)
- ・取得しても、育児に参加しないなら意味がない。それなら取得しない方がいい(30代女性)
- ・育児に参加するために休暇を取得できるならば賛成(30代男性)
- ・1人目の場合、戸惑いもあると思いますし、産後の体を考慮し、男性も育児休暇を取得し積極的に家事を優先出来る社会になればいい(30代男性)
- ・休暇取って役に立てる男なら取るべきだし、ただ居だけの邪魔者にしかならないなら休まずに働けば良い(40代女性)
- ・取っても「大きい子ども」が増えるだけならいらぬ(40代女性)
- ・自分の場合、休暇までとって家にいられると、余計な時間が取られるので、普段の休暇のみでいいと思う。(50代女性)
- ・せっかく休暇をとっても、家事も育児も手伝わず、ダラダラ過ごしてかえって奥さんの負担が増したという話もきくので、よし悪しだと思う。(50代女性)
- ・育児の領域が何処までか把握できているならば分担してほしいが自分の為の休暇ならばいらぬと思います(60代女性)
- ・男性による 休みを貰ってもゴロゴロする人もいるので(70代女性)

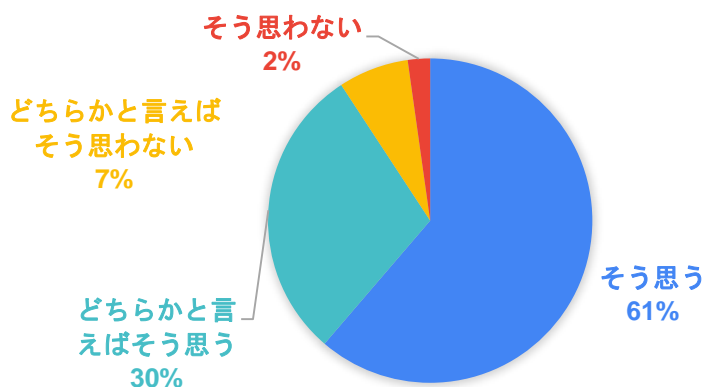
▼「その他」へのコメントーその他

- ・取得する必要があるときは取得するべきだと思うが、必ずしも取得することはないと思う。夫婦の考えや話し合いで決まると思う。(30代女性)
- ・時短など早く帰ってきて欲しい(30代女性)
- ・きちんと家事ができるなら必要、休まなくても定時に帰ってくる事が出来て、給料も保証されればいい(30代女性)
- ・取る必要があれば取るべき(30代男性)
- ・事業主としては思わない。個人として思う。(30代男性)
- ・子供が産まれたばかりはほとんど寝ているのでもう少し成長してから育休を取ればいいと思う(40代女性)
- ・出来る環境であってほしいが難しい。(40代女性)

- ・父親母親が、細部まで話し合って育休を取るならわかるけど……(40代女性)
- ・取得してもいいと思う(40代女性)
- ・必要な人が取得すればいいと思う(40代男性)
- ・育児休暇を取得できる職場環境は整備すべきだと思う(40代男性)
- ・奥さんが無職なら育児休暇を取得する必要なし。(40代男性)
- ・会社にて責任のない post だと取ればいい、責任ある立場なら誰が穴埋めするのか(40代男性)
- ・状況に合わせて、女性の負担軽減を狙った方がいいと思う(40代男性)
- ・育児休暇の意味をしっかりと理解した上で取得すべき(50代女性)
- ・夫婦共働きなら交代で必要だと思う(50代女性)
- ・長期的な休暇が取得できれば取得すべき(50代男性)
- ・自由であるべき(60代男性)

問18-1.(自分、または同僚・部下が)子どもの行事のために休みを取得したり、子どもと過ごすために出張や残業を断ることは構わない **[自分が休む場合]**

n=855



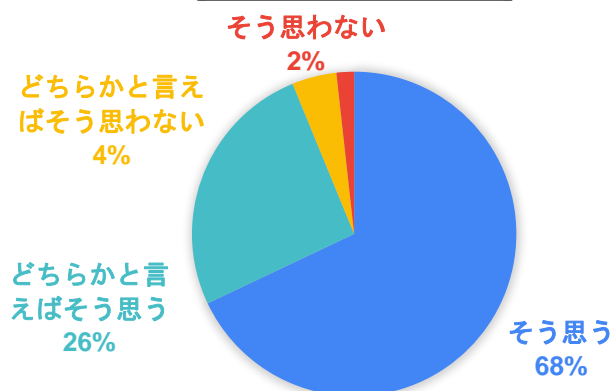
分析コメント

▼[自分が休む場合] [同僚や部下が休む場合]どちらも 9割以上が肯定的な回答です。

これまで、「周囲の目が気になって休みを取得しづらい、出張や残業を断りづらい」という声が目立っていましたが、実際には9割の人が「さしつかえない」と考えていることがわかります。

問18-2.(自分、または同僚・部下が)子どもの行事のために休みを取得したり、子どもと過ごすために出張や残業を断ることは構わない **[同僚や部下が休む場合]**

n=855



問 19.上記問 18 の理由があれば教えてください(N=383)

▼[自分が休む場合]:そう思う / [同僚や部下が休む場合]:そう思う

- ・子育ては大変なので、ゆっくり休暇を取るべき(10 代女性)
- ・それが親である限り義務であると思うから。休んで仕事回らないのであればそういった体制にした会社が悪い。(20 代女性)
- ・何の為に働いているかにもよりますが、私は子供とより良い生活をするために働いています。それなのにその大事な子供の事を差し置いて仕事をするのは本末転倒だと感じます。(20 代女性)
- ・家庭が第一(20 代女性)
- ・休日取得は労働者の権利であって、行事や日頃の日常生活を通して子どもの成長を見届けるのは親としての責任だと思うから。(20 代女性)
- ・仕事はほかにも代わりがいるし、家庭を顧みずに働くべきではないと思う。(20 代女性)
- ・仕事は家族より大切じゃない。(20 代女性)
- ・仕事は他の人にもできるけど、子供の親の代わりはできないので。(20 代女性)
- ・仕事も大事だけど代わりがさく分親の代わりはさかない(20 代女性)
- ・仕事よりプライベートが優先だと考えるため(20 代女性)
- ・仕事より子供を優先することは親として当たり前だと思うから(20 代女性)
- ・子ども(幼ければ幼いほど)との関わりは大事だと思うから。(20 代女性)
- ・子どもと過ごす時間は大事だから(20 代女性)
- ・子供と過ごす時間仕事なんかより大切だから。職場でも理解して貰いたいと思うし、他の人に対しても理解してあげたい(20 代女性)
- ・子供の行事は一つ一つが大切な思い出になると思う為(20 代女性)
- ・子供の成長を見たいのは親としては当然だし、いずれ自分が休みたい立場になった時に休ませてもらえるし。持ちつ持たれつ、お互い様。(20 代女性)
- ・子供や、家族の大切な行事に行くのに残業、出張させるのは会社の頭がおかしい(20 代女性)
- ・自分のこどもの行事に参加するのは家族としての義務だと思うから。(20 代女性)
- ・当たり前のことだと思う(20 代女性)
- ・福利厚生を活用する権利があると思う(20 代女性)
- ・ちゃんとした理由があるから休みを取ったりしてもいいと思う(20 代男性)
- ・どんな理由であれ休むことは権利だから(20 代男性)
- ・休むのは当然だ。(20 代男性)
- ・仕事は代わりの人がいるから(20 代男性)
- ・仕事より子供優先(20 代男性)
- ・子どもの人格形成に一緒にいる時間は比例すると思う。よくも悪くものケースはあるが。(20 代男性)
- ・私生活も充実させることは重要であるから(20 代男性)
- ・自分が子供のために休みを取りたいし、周囲にもそうしてほしい。(20 代男性)
- ・水を飲む、空気を吸うと同様に生きていて当然のこと(権利)であるから。(20 代男性)
- ・正当な権利である(20 代男性)
- ・問 18 のような質問が出ること自体が疑問に思う(20 代男性)
- ・有給休暇の取得は労働者の権利であるから。(20 代男性)
- ・仕事のために生きているのではなく、生活のために仕事をしている。生活を優先するのは当たり前のこと。(30 代その他)

分析コメント

▼「仕事の代わりは利くが、親の代わりは利かない」「子育ては一過性、協力しあって」といった肯定的コメントがある一方、「個人としては肯定的だが、事業主としては否定的」といった、切実な声も見られます。

- ・お互いにフォローしあっていければ良い(30代女性)
- ・お互いに助け合うことが大事だと思う(30代女性)
- ・お互い様、これができないなら少子化進むだけ(30代女性)
- ・その分仕事の時間内で出来ることをすれば良い(30代女性)
- ・それを理由に何でも断るのは不快だが、致し方ないと思う(30代女性)
- ・でもパートや環境によって休みにくかったりシステムがなかったりで休めない方の方が多いとおもいます！(30代女性)
- ・なるべく休暇を取りやすい環境を作ることが大事だと思う。その方が働くモチベーションも上がると思う。(30代女性)
- ・みんながお互い様であるべき(30代女性)
- ・有休を取れないのはそもそもの会社のシステムに問題があるので。不平不満が出るのもそのせい。会社のシステムの根本から改革していかないといけないと思う。(30代女性)
- ・育児に専念できる期間は短いので大切にすべきだと思うから。(30代女性)
- ・家族との時間は生きていく中で、今しかない一番大切な時間だと思うから(30代女性)
- ・家族との時間を大事にすることは当たり前です。(30代女性)
- ・家族の時間も尊重できる人の方が良いから(30代女性)
- ・家族を大切にするのは当たり前のことをだから自分もそうしたいと思うし、他の人にもそうして欲しいと思う。子供のために休みを取るの当然の権利だと思う。(30代女性)
- ・家族優先をしていただければ、もっと安心して仕事ができるようになると思います。(30代女性)
- ・家庭あつての仕事だと思うから(30代女性)
- ・家庭が大事。特定の日に業務ができなくても他の時間や他の業務でリカバリーできれば問題ない(30代女性)
- ・休みを希望するなら、それで問題ないと思う(30代女性)
- ・休み希望は理由に関わらず本人の意思なので自由にするべき(30代女性)
- ・共働きだと仕事も大事だけど、家庭の時間も大事にするべき。(30代女性)
- ・決まった人に押し付けるのはだめだから社員同士お互い休み取り合えばいい。助け合い。(30代女性)
- ・行事で休み取るのが当たり前とってます(30代女性)
- ・行事などは仕方がないと思うが、そうでなければ仕事を優先するべきかなと思う。(30代女性)
- ・行事に関してですが、月に何回もあるわけではない行事で、働く年数で考えても少ない子供の15年の間の少しの行事の日くらい休みを頂いていいと思う。子供の成長を見ずに、何のために働いているのか。(30代女性)
- ・残業を断るのはどうかと思うが、子供の行事には参加させるのが今時普通だと思うから。(30代女性)
- ・仕事が一番ではない！(30代女性)
- ・仕事で子供のことを犠牲にする様なことには違和感のようなものを感じるから(30代女性)
- ・仕事なんかより子供と過ごす時間の方が大事(30代女性)
- ・仕事の人員は代わりがいるが、家族に代わりはいないから。(30代女性)
- ・仕事の代わりはあるが、家族の代わりはないから(30代女性)
- ・仕事は誰かが代われるけど、親の役割はその人しか出来ないことだから。(30代女性)
- ・仕事をしていても子供が1番だと思うから(30代女性)
- ・子どもとのイベントはその時にしか経験できないことが多く、仕事のスケジュールに左右されたくないから(30代女性)
- ・子どもと過ごす時間は仕事より大切だと思うから。(30代女性)
- ・子どもと過ごせる時間は限られているので大切にしたいし、同僚にもそうしてほしいので。(30代女性)
- ・子どもの行事があるのは今しかないから(30代女性)
- ・子どもの行事に参加するのは親の権利であるから(30代女性)